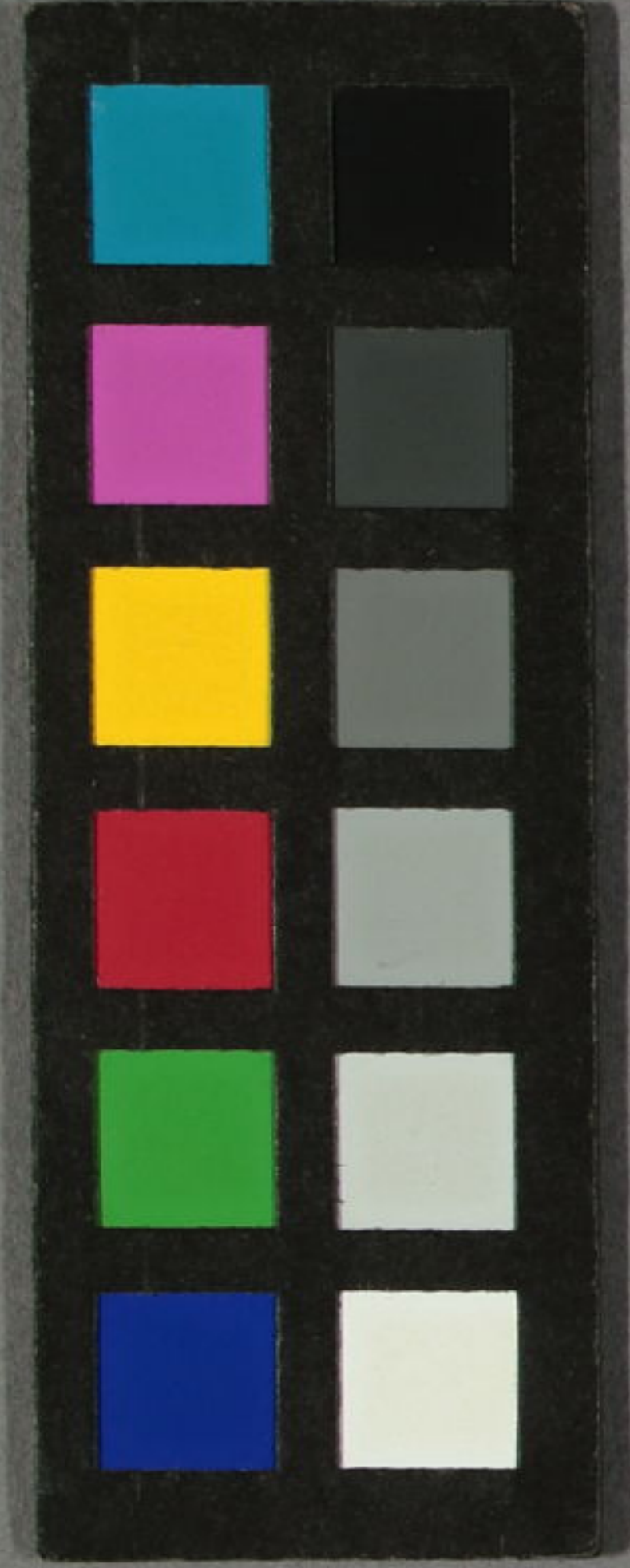


玉川日記 初編 下

^ 13
3188
3



武松志丹

へ 13
3188
巻 3

昭和十
六月二十五日

松下

松明 玉川 月記 卷之下



江戸 南僊笑楚満入 合作

第五回

盛者必衰の理たるのぐるぎに集りみんて衰
来る是浮世のありさるゆへて天人も又五衰の日
あつたりやとても道ちよま肩をさるらがる者も死
續布衣の長者とていふまで一各々徳のかけがえなき

玉川

暮落し雨の聲もして～つゆふり 津又み川へ入るせ

よしあつて～あつ 終つて世あつての秋

かちちの上よ。ちちが父窮乏も病死せしうらな

も～あつ 泪のこぼれしとる時雨目も

てちちを～あつ 暮れ～あつ 彼まの病あつて

あつて容を～あつ 年頃のあひらく直つて

亡人の病～あつ しつと心をちあへんはなつての不幸

は愁の～あつ 響くことあつて～あつ 徒来男は

つもの女は～あつ 昔とるなけけるまうかである

あつて～あつ 食ふは～あつ さかろん今道の程

あつた～あつ す女のもうがら奉公人ぞうくま

あつた～あつ 家業の～あつ なるまもわいし

あつた～あつ 家の～あつ 半の～あつ きたりてくは貸しあつた

あつて～あつ 病も～あつ つけ又あつた～あつ まあつて

あつた～あつ 後家～あつ なたてく暮れしつてあつた

あつた～あつ 世は～あつ けし程の昔の～あつ なるあつた

更^{なほ}の^{しな}實^{じつ}ある^るに^むも^もわ^くく^く世^よの^な中^なに^いて^いる^りの
 ける^る交^あの^ま同^ど細^こ布^ふと^は家^け業^{ぎやう}と^はする^る家^けの^は掘^ほる
 や^や井^いの^りの^りの^り者^{しや}と^はす^る有^う徳^{とく}の^町人^{ぢゆうじん}の^町人^{ぢゆうじん}あり^る細^こ布^ふや
 世^よの^りの^りの^り掘^ほる^る少^すく^くわ^わる^る身^み代^{しろ}の^り
 け^けり^ると^はお^おる^る後^{のち}に^は又^{また}掘^ほる^るま^まあ^あら^らぶ
 家^けの^りり^りけ^ける^るお^おる^る後^{のち}に^は又^{また}掘^ほる^るま^まあ^あら^らぶ
 あり^るの^り掘^ほる^るや^や往^{むか}へ^く往^{むか}へ^く家^け業^{ぎやう}の^り度^たを^ど何^{なに}も^も
 なく^くお^おる^るけ^ける^る井^いの^り掘^ほる^るお^おる^るが^が使^{つか}ひ^ひの^りす^する^る

と^とあ^ある^るに^いて^いる^るみ^みと^と親^{おん}類^{るい}の^りど^どく^く交^あり^りけ^ける^るま^ま
 掘^ほる^るま^まの^りり^りと^とせ^せと^と子^こと^とい^いわ^わる^るす^する^る
 け^ける^るに^いて^いる^るお^おる^るく^くに^いて^いる^る後^{のち}に^は又^{また}掘^ほる^るま^まあ^あら^らぶ
 又^{また}あ^ある^るく^くに^いて^いる^るけ^ける^る中^{なか}に^いる^る陰^{いん}陽^{やう}山^{さん}和^わ合^{がっ}寺^じ
 と^とり^り入^いる^る法^{ほう}則^{すく}ち^ちは^は動^{どう}情^{じやう}な^なた^たて^てま^まる^る縁^{えん}起^きる^る大
 黒^{くろ}天^{てん}へ^へま^ま婦^ふ身^み練^{れん}と^とら^らし^して^て子^こと^とあ^あら^らぶ^るけ^ける^るに^いて
 祈^{いの}り^りけ^ける^る林^{りん}や^や陰^{いん}陽^{やう}山^{さん}和^わ合^{がっ}寺^じと^とり^り入^いる^るま^ま
 ま^まあ^あら^らぶ^る大^{だい}黒^{くろ}天^{てん}の^り男^{おとこ}女^めは^は二^に体^{たい}は^はま^まあ^あら^らぶ^るて^て世^よ俗^{じやく}の

三川一

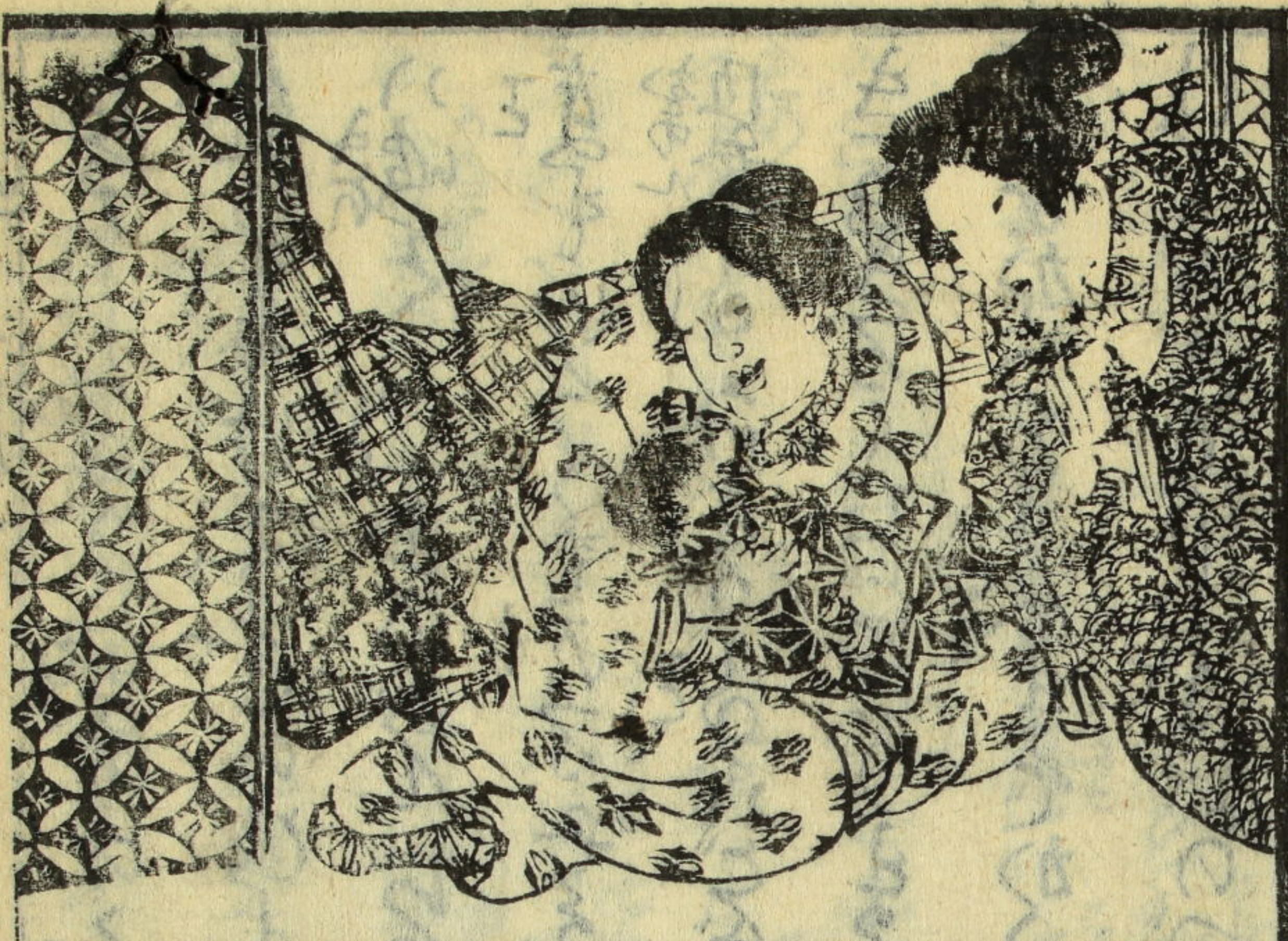
三

まは婦ニホ大シホ女メとシ宿スてト形カサ男コ神カミ八ヤチ袋フクロとシ養シケ身ミのノひ
 女メ神カミ八ヤチ卷マキ物モノとシ珠ジュのノ入イりノ入イりノ入イりノ世セのノ入イりノ入イりノ
 大オホ己ニ貴キ神カミのノ像イマゲはシテ異ヒなるノ按アヒざるノ唐カラ土チのノ文フミはシテ
 月ツキ神カミ八ヤチ神カミのノ類ルビひニあリらズべシ也ナリ
 和ニホ公コウ神カミとシてテ人ヒトのノゆヰてテ是コトをシやセしモ全クくシてシてシ
 道ミチとシてテもシてシあリらズべシ也ナリ
 或アル人ヒトのノ入イりノ入イりノ入イりノ神カミとシてテ子コとシてテ又マタ續ツグきテ死シ
 宿スてト形カサ男コ神カミ八ヤチ袋フクロとシ養シケ身ミのノひ
 大オホ己ニ貴キ神カミのノ像イマゲはシテ異ヒなるノ按アヒざるノ唐カラ土チのノ文フミはシテ

婦人メノヒトをシてテ預タテマひニかクるノ身ミあリまシらズべシ也ナリ
 いハちシてシとシるノ嚮ムカヒはシテおシるノ深フカ女メはシテ送オコりノすベし也
 是コトのノ像イマゲのノけレりノけレりノ去イるノ程ハジメはシテ短ミくシてシ又マタ婦メ八ヤチ首クビ
 七シチ夜ヨはシテ狂キヤウまシ通ツヨク夜ヨせテ一ヒトのノ宿ス也ナリ
 此コトのノ後ノチにシてシ當タツるノ十月シツグはシテ安ヤスくシてシおシるノ女メ八ヤチ子コ
 そノのノけレりノけレりノ身ミあリまシらズべシ也ナリ
 深くフカク深フカ女メ八ヤチ子コとシてシおシるノ女メ八ヤチ子コ
 はシテ深フカ女メ八ヤチ子コとシてシおシるノ女メ八ヤチ子コ



夫あや左のいぬを飼ふ。
 ひまのま
 人を集りて強ひていれを
 ひらいてはたかき強ひて
 からま其のくさるるまき
 修めくお捨たまぬかて
 須布屋のお糸入扱を
 よも養生ありーよも養生して
 そのころいびきのいんと。



ちのめあつて
 けの物より新よこのめ
 せ入束のて井まよあひ
 後後とのべおせりてその
 嬰児をいんまをこま
 井まもいれくいら
 束のりんすつよ彼赤子ハ
 お糸入をいれりころが如く
 ましりきもせかて強を居

五川の如く... 堀尾... 交りける... 同... 鼓... ち... ち... ち...

五川の如く... 堀尾... 交りける... 同... 鼓... ち... ち... ち...

かく作^スて^シ一^ク致^スる^レの^レけ^レは^レ大^キき^ニま^シお^シき^ニた^レ何^レ
 考^ヘく^レは^レ此^ノ所^ニは^レか^クも^ノあ^ル人^ノ書^ハシ^テ書^カる^レ。一^ク書^キ
 置^キめて^シは^レ子^ノ授^ケる^レ。一^クの^レあ^ルく^レは^レ此^ノ所^ニは^レ一^ク書^キ
 置^キて^シの^レあ^ルく^レは^レ唐^ノ土^ノの^レ書^ハ籍^ハも^もこ^トま^シよ^レ似^テる^レ
 こと^ニま^シり^テ後^ノは^レの^レこ^トへ^テ自^ラ考^ヘる^レま^シあ^ルべ^シと^シ不^レめ^ク
 町^ノ人^ノあ^らう^ラ田^ノ舎^ノ土^ノ文^ノ字^ノも^もあ^ル男^ノの^レあ^ルく^レは^レ一^ク書^キ
 携^ヘて^シ我^ノ家^ノへ^テの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クも^もあ^ル書^ハ籍^ハの^レぬ^レ
 愛^シて^シま^シら^レく^レも^もあ^ル書^ハ籍^ハと^シま^シり^テ一^クも^もあ^ル書^ハ籍^ハの^レぬ^レ

も^も彼^ノの^レ數^ハを^レ人^ノ金^ノを^レ六^ノ忽^ノと^シま^シり^テ或^レは^レ怪^シ我^ノを^レせ^レ
 正^シる^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レ
 と^シま^シる^レこ^トの^レま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レ
 携^ヘて^シぬ^レ理^ルる^レる^レま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レ
 其^ノの^レま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レ

第六回

君子^ハ尺^ノの^レ壁^トと^シ貴^トと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レ
 先^ノ陰^ノの^レま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レと^シま^シり^テ一^クの^レぬ^レ

秋とくすうすうちの夏の同は十年あましの年月
 ともく。堀巻屋の二子孫受那ハ十六支の前々容
 陽園へかかす彼の在五中おの童連來る
 源氏うきもかくやと皆入營さるのころけり。かく
 こけまはま輝の輝も入へ入るへくも輝の輝の
 かく初おるたふり書書なはるのそ外もりくの
 控巻よるるまて合はあてて学しせける
 そのま相人よましくしとてましくあはるる文書ま

彼の司馬温公よまてあててける程のつげは
 とりひ容良のひひはまあつた子よ持てる
 といひまぬあのももつりけり。秋とくすうちの
 ともくも老年よるひたるまのまのまのまのま
 ち候のまのまのまのまのまのまのまのまのま
 衣彼上下まのまのまのまのまのまのまのまのま
 ともまのまのまのまのまのまのまのまのまのま
 りのまのまのまのまのまのまのまのまのまのま

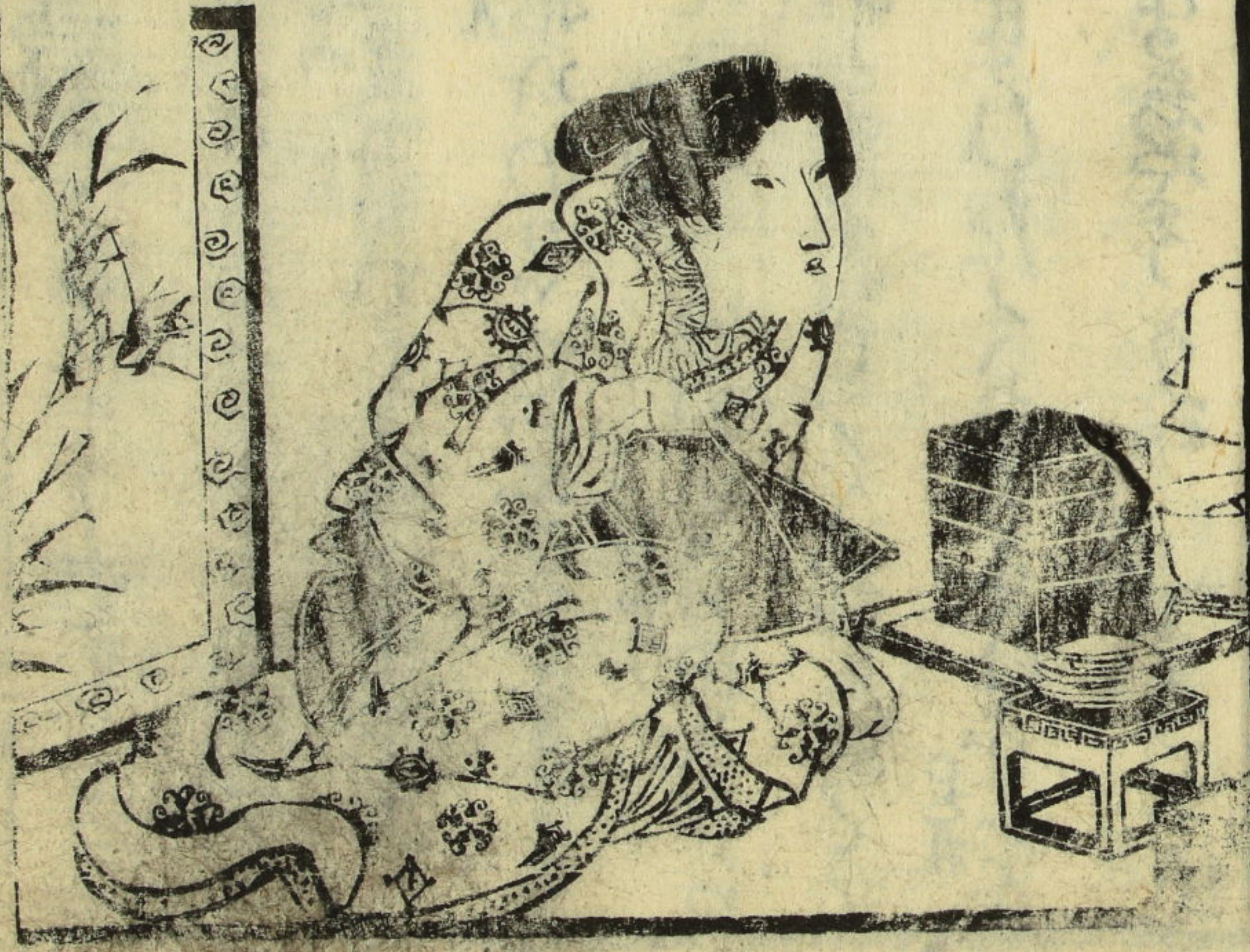
一ノ

二

Handwritten Japanese text in a vertical column, likely a letter or a page from a diary. The characters are in a cursive style (sōsho).



Handwritten Japanese text in a vertical column, continuing the narrative or letter. The characters are in a cursive style (sōsho).



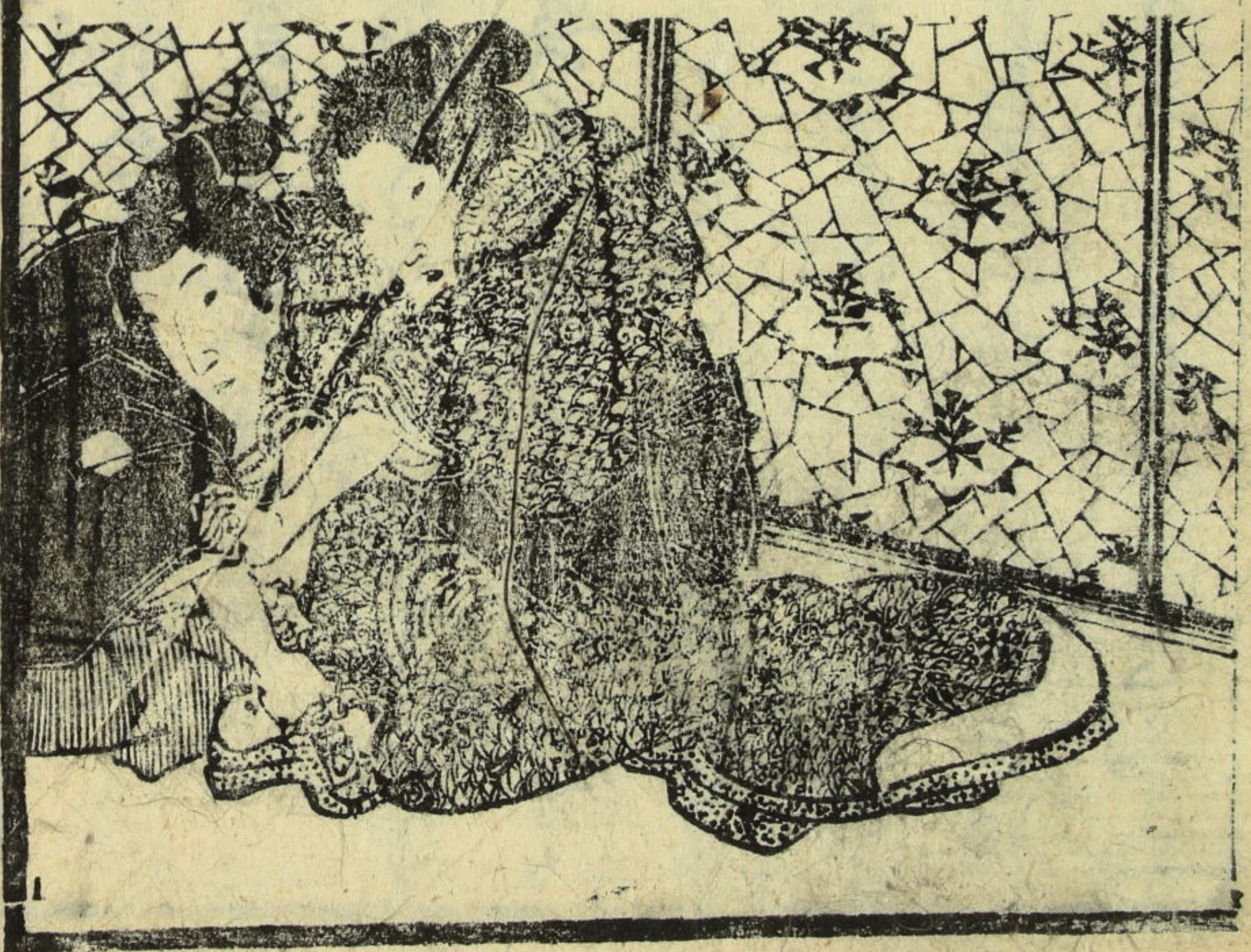
おまゝの^{オマツ}嫁^カあつて^{アツ}おまゝして^シ遅^{オソ}く^クの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 外^{ソト}び^ビら^ラる^ル一^{ヒト}遅^{オソ}く^クお^オ泊^トる^ルの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 ま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 モウ^{モウ}の^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 下^{シタ}女^メを^ヲよ^ヨひ^ヒも^モ 殊^ニお^オ系^ケさ^サえ^エく^クお^オハ^ハの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 つ^ツけ^ケく^クか^カる^ル。 ぬ^ヌま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 ぬ^ヌま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 くら^{クラ}い^イく^ク一^{ヒト}死^シで^デご^ゴも^モあ^アま^マひ^ヒた^タら^ラい^イの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 行^{ユク}儀^ギの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ

お^オ子^コハ^ハ正^シ月^{ツキ}、ま^マら^ラそ^ソえ^エま^マる^ルの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 お^オて^テに^ニじ^ジげ^ゲの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 ち^チの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 此^{ココ}の^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 や^ヤの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 あ^アつ^ツて^テ父^{チチ}を^ヲよ^ヨひ^ヒも^モあ^アま^マひ^ヒた^タら^ラい^イの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 ま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ
 物^{モノ}を^ヲよ^ヨひ^ヒも^モあ^アま^マひ^ヒた^タら^ラい^イの^ノま^マの^ノま^マの^ノま^マ

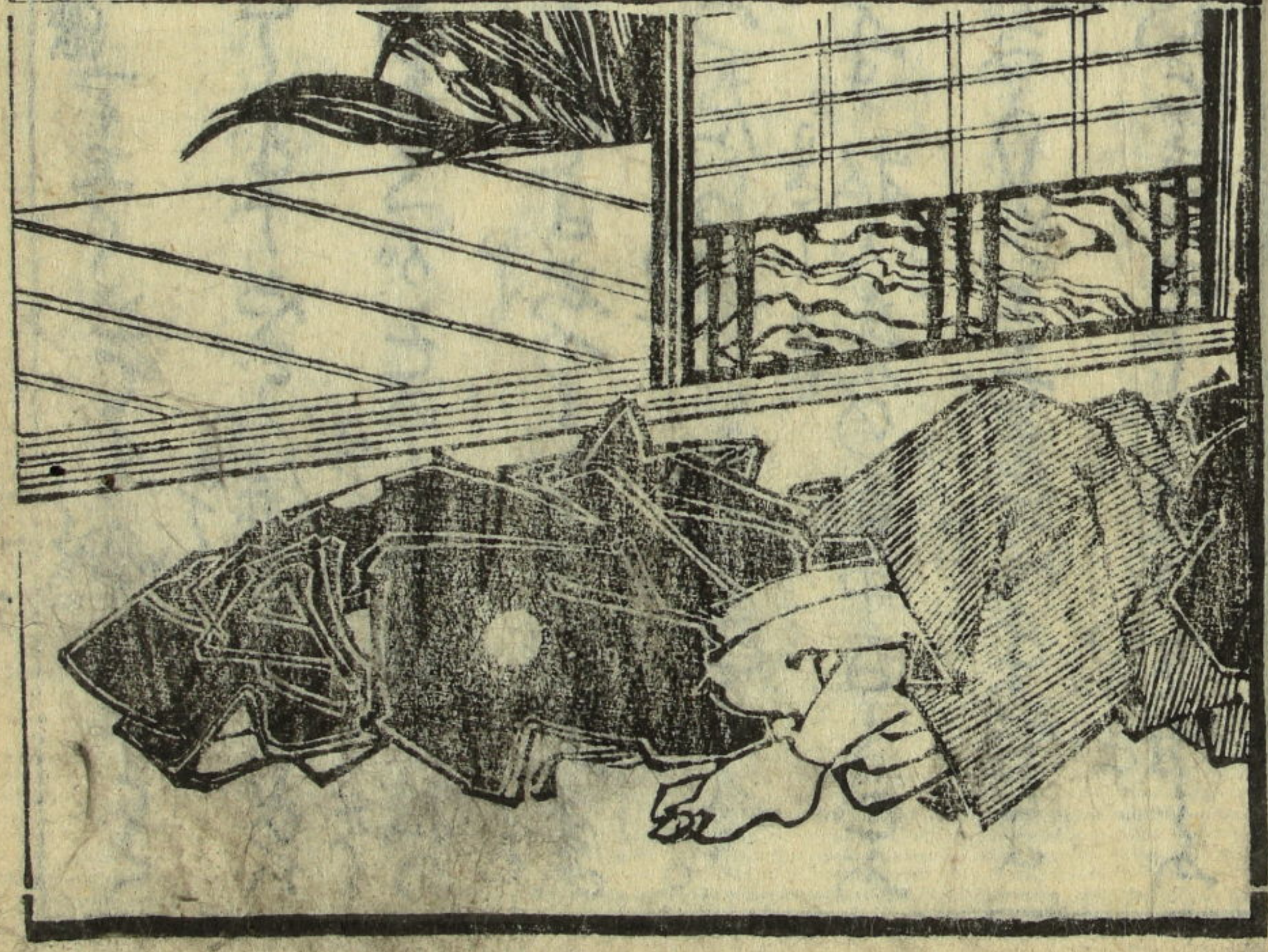
恋まじりし心の中へ何れもあらざる
 所の私に六年の昔かゝる上は遠く
 女中は幾少くも居てく顔を見ても
 早もつゝのりきまをたひくは何れも
 飯のこしらへく侍も居てくその人
 たり新しきまをたひくは何れも
 今の目もみえぬがよふも私も向ふ
 らぬまうへへ年七とひきまへく
 何れもあらざる
 恋まじりし心の中へ何れもあらざる
 所の私に六年の昔かゝる上は遠く
 女中は幾少くも居てく顔を見ても
 早もつゝのりきまをたひくは何れも
 飯のこしらへく侍も居てくその人
 たり新しきまをたひくは何れも
 今の目もみえぬがよふも私も向ふ
 らぬまうへへ年七とひきまへく

何れもあらざる
 恋まじりし心の中へ何れもあらざる
 所の私に六年の昔かゝる上は遠く
 女中は幾少くも居てく顔を見ても
 早もつゝのりきまをたひくは何れも
 飯のこしらへく侍も居てくその人
 たり新しきまをたひくは何れも
 今の目もみえぬがよふも私も向ふ
 らぬまうへへ年七とひきまへく

けはへ何れ馬鹿のふま
 ちのく何れもふま
 まぢに何れも思へ
 らむくくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく



ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく
 ちのくくくくくく



送余^{まよ}返^{かへ}ま^まの^の中^{ちゆう}廿^{にじゅう}女^{にょ}と^とハ^は何^{なに}と^と隠^{かく}一^{いち}ま^まを^をう^うあ
 ら^らひ^ひの^のま^まを^をも^も叶^かを^をぬ^ぬ意^い海^{かい}を^をら^らし^しと^と物^{もの}を^をい^いり^りえ
 る^る。一^{いち}死^しん^んで^で未^み来^{らい}を^を待^{まち}ま^ます^す。未^み来^{らい}ハ^はい^いま^まを^をま^まへ^へす
 る^る。一^{いち}下^かさ^さり^りま^ませ^せ。一^{いち}バ^バト^ト又^{また}ま^まの^のま^まを^をま^まへ^へす
 一^{いち}玉^{たま}の^の島^{しま}且^{かつ}那^な玉^{たま}は^は一^{いち}の^の間^まに^にあり
 玉^{たま}川^{がは}う^うび^びら^らび^びの^のま^まを^をま^まへ^へす
 又^{また}さ^さう^うら^らの^のま^まを^を隠^{かく}一^{いち}吐^つき^き出^です
 玉^{たま}川^{がは}日^ひ記^き卷^{まき}之^の下^{した}終^{つひ}

玉川日記卷之下終

